

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



シンボルマーク

根南福祉だより

37号

(広報部)

平成30年度を振り返って 副会長 村松 宏



村松宏副会長

富士根南地区の皆様には地区社協の事業に参加・ご協力いただき、誠にありがとうございます。また、各事業部の関係者の努力によって今年度の事業を無事終える事ができました。重ねてお礼申し上げます。

今年度の事業の中で印象に残った事業についてふれてみたいと思います。

1. 磐田市福田地区社協視察研修

前年度、意識調査部が行ったアンケートの結果、生活支援の手助けが必要になってきている状況がみえてきました。そこで、生活支援サービスに力を入れて活動中の福田地区に視察に伺いました。参考になる点もありましたが、まだたくさんの課題をかかえており、今後一層地域のみなさんの協力が必要になってくると思いました。

2. 推進委員研修会

根南地区の現状と課題を中心に専門機関の方々に講話をしていただきました。

小泉・大岩・杉田の各地域によってそれぞれ課題や温度差があり、いま自分達の地域でどんな事が起きているのかを多くの人達に関心を持ってもらうことが大事だと思いました。

その他の事業にも参加して思った事は、皆さん熱心で、また楽しく参加してくれているのが印象的でした。

高齢化社会になり「介護」「福祉」というキーワードがすぐでてきますが、とにかく一人でかかえこまず、いろんな人と話し合い、みんなでサポートし、笑顔で過ごせるそんな地域になればいいなと思っています。

今後とも富士根南地区社協の活動にご協力をお願いします。

平成30年度のネットワーク活動

企画委員長 木ノ内高嘉

平成30年度の小地域福祉事業の特筆は、地区社協初めての事業として、磐田市福田地区社協への視察研修会が実施できたことです。生活支援事業が進んでいることから、昨年度のアンケート結果より要望の多かった生活支援について学ぶことでした。

福田地区社協は「ふくで生活応援倶楽部」を立ち上げ、利用者は会員登録をし、1枚1時間500円のチケットを購入し、サービスを申込みと、支援員が訪問しサービスを実施しチケットを受け取る仕組みです。会員と支援員の調整は倶楽部事務局のスタッフがいき、公的サービスでは届かない「はざま」にある内容を住民で支えています。こうした

システム作りが可能か否かは今後の検討課題となります。

ネットワーク活動の状況調査では福祉委員の皆様に見守り対象者、福祉協力員などの調査と見直しをしていただき、協力員の高齢化や辞退者、新規のなり手がいない、個人情報扱いで苦慮しているなどの意見が寄せられました。又上小泉区福祉会の見守り活動の見学会を実施し、福祉委員の方々が見守り方法、声掛けなどを確かめ合い、自区の参考としました。

この他、ネットワーク委員会を4回実施し、介護施設見学会を「地域複合施設ひより」で実施を予定しています。

「地域を知ろう」を実施して

サポート部長 望月 好江

平成30年度の「地域を知ろう」が12月8日に実施され、85名の参加者が大岩地区を巡り、地域の歴史の再発見と、健康増進、住民交流を深めました。

12月8日(土)、快晴の澄んだ空気の中、「地域を知ろう」が大岩地区を会場に実施され、大岩三区さんのご協力のもと、85名の方々が地域の歴史再認識や区民の交流を深めることができました。

今年で3回目となる地域巡りですが、お年寄りから子育て世代の親子まで、幅広い世代の参加があり地域を知る良い機会になったことと思います。

コースは大岩三区区民館を出発して、モネの睡蓮のような「大岩堤」を経て「重林寺」さんを見学。ご住職から秋葉三尺坊威徳殿にて、火伏せの神のいわれ、火渡りの大祭についてお話を伺いました。

その後「賽の河原の六地藏」から「大岩の子安

神社」と大岩地名由来とされる細いしめ縄の巻かれた大岩を見学し、区民館に帰着しました。全行程3.5キロの少し登り下りのあるコースでしたが、皆で和気あいあいに散策を楽しみました。

普段、あまり気に留めない地域の歴史ある場所を、ボランティアガイドさんの丁寧な説明から、より深く学ぶことができ、貴重な体験となりました。

この行事が多くの方々のご尽力とご協力により実施できましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



重林寺山門前の集合写真



大岩堤



重林寺住職の説明



賽の河原の六地藏



大岩子安神社本殿



大岩地名由来の磐座(いづくら)

地元に住んでいるが、このように歩いてみると、新しい発見があり良かった。区の人たちとこのような催しもやってみたい。スタッフの皆様ありがとうございました。

参加者の声

初めて参加しました。知らない事を知り大変よかった。地域にこんないい所があるんだと感動しました。次回も参加したいと思います。ありがとうございました。

地区社協よりボランティア66名 15の遊びに181名の児童

根南小「昔の遊び教室」

サポート部長 望月 好江

11月30日、根南小の「昔の遊び教室」が実施され、社協推進委員、長寿会の方々計66人と、一年生181人が昔の遊びを通して、異世代間のふれあいを楽しみました。

懐かしい昔の遊び、めんこ、お手だま、紙ひこうき、けん玉、羽根つきなど15種類の昔の遊びが用意され、子供たちは早く覚えようと、一生懸命に練習する姿がとても印象的でした。

素人でも名人の名札をいただき、皆さん冷や汗(笑)しかし、元気な一年生に緊張もほぐれ、一緒に楽しく遊ぶことができました。

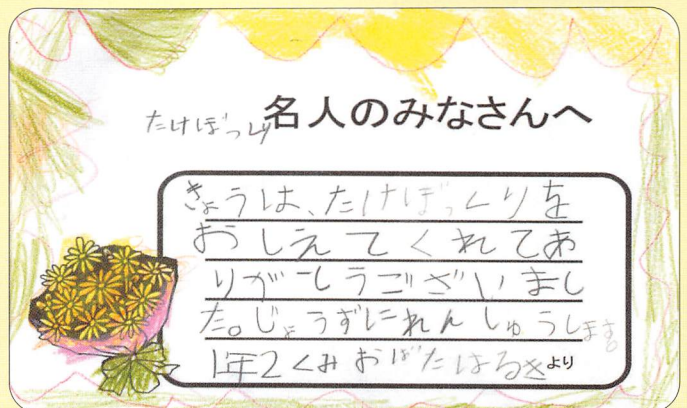
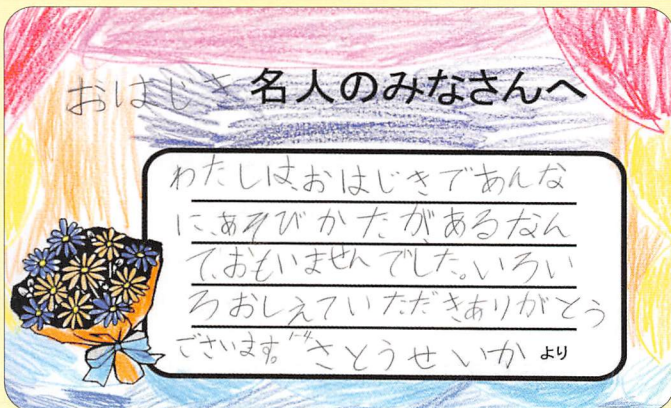
中には名人級のお手本になる子もいて驚きました。お礼の言葉もしっかりとってくれました。

初めは不安と戸惑いもありましたが子供たちと関わることで、気づきや発見があり参加して良かったです。

1年部の先生から、「子供たちは今日の遊びをとても楽しみにしていました。できなかったことができたとき、キラキラした目で『できた！できた！』と喜びの表情をあちこちで見ることができました。これも名人さんが熱心に指導してくださったお陰です」とお礼の言葉をいただきました。



児童からお礼のことば



はじめの会



ゴムとび



竹うま



あやとり



紙ひこうき



竹ぼっくり

富士根地域包括支援センター

富士宮市小泉1854-3
電話 0544-21-3611

4月から地域の身近な相談機関として富士根地域包括支援センターがスタートしました。

毎月20件以上の新たな相談が入ります。医療や介護に関する相談やお金や住まいに関する悩み、権利擁護に関する相談など内容は様々です。

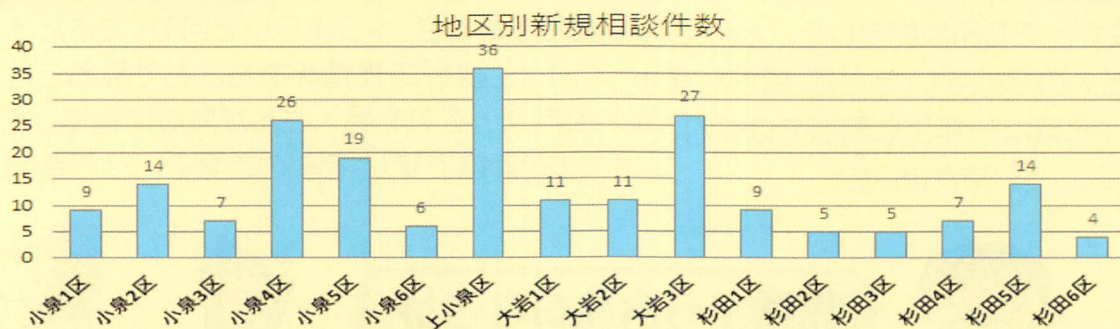
職員各々の専門分野を生かしながら日々相談

に当たっています。富士根地域包括支援センターの存在が広まっていき「何かあったら地域包括支援センターに聞けばいい」と思って頂けるよう、今後も相談しやすい施設を目指していきたくと思います。(小代田志保)

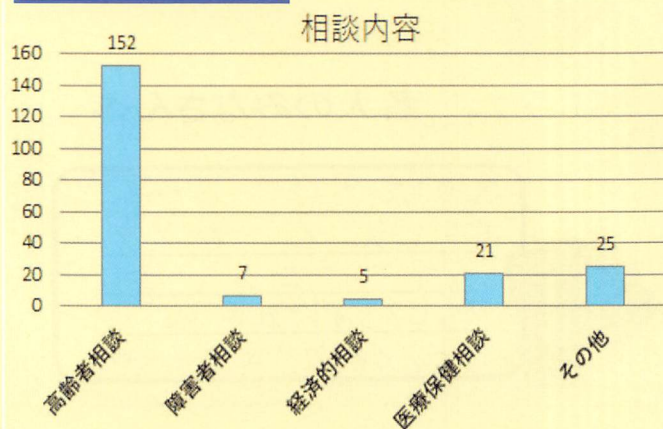


1. 新規相談件数

H30.4.1~H31.1.31



2. 相談内容



- ・介護保険の説明、手続き代行、ケアマネ紹介
- ・病院から退院した後の在宅支援
- ・知人、家族が認知症かもしれない
- ・受診を嫌がる人の対応を相談したい
- ・施設入所に関する情報を知りたい
- ・お金がなくて生活ができない
- ・成年後見制度を申し込みたい
- ・地域包括支援センターの役割を知りたい

結びつき・信頼深まる声掛け訪問

上小泉福祉会の活動を見学

2月2日(土)根南地区社協12名が上小泉区の「声かけ訪問活動」に参加し、5町内~7町内に分かれて区の福祉委員と一緒に見守り活動を行った。

同区では、見守り活動は平成26年から実施されていて既に4年の実績がある。訪問する側、される側とも顔なじみになっており見守り活動が和やかに行われている。

呼び鈴を押しても応答がないので心配していると、窓から顔をみせ見守り活動とわかると急いで玄関を開けたり、途中で行き会った訪問対象者からは「落とし物をしてしまった」と話しかけられ、福祉委員が心当たりで電話で聞くなど信頼関係が成り立っていることが窺えた。

続けることで結び付きが強まり信頼も寄せられるなど、いろいろ得ることができた見学会だった。(斉藤富夫)

